

幼稚園創設八十週年を迎えての記念式典は、十月二十六日、文部省、全国国公立幼稚園長会、日本私立幼稚園連合会、公立大学付属連盟幼稚園部会、幼稚園施設協議会、保育学会の六団体主催のもとに、お茶の水女子大学講堂で盛大に行なわれた。

総理大臣鳩山一郎氏の祝辞（代理）について文部大臣清瀬一郎氏の祝辞があり、参議院議長益谷秀次氏、衆議院議長松野鶴平氏、全国知事会会長安井誠一郎氏、全国教育委員代表木下雄氏らの祝辞が述べられ、つづいて、お茶の水女子大学長嶺山

幼稚園創設

八十週年記念式典

政道氏の記念講演が「社会的変化と教育制度」と題して行なわれ、感銘を与えた。

式典の第二部は昼食後、大阪府公立幼稚園職員有志による明治初期のうたに始まり、明治から昭和への幼稚園の変遷を歌と劇によってたのしく展示された。明治初期のうたは、大阪愛珠幼稚園の中村道子園長の努力によって当時のままに再現された。豊田英雄作「民草」は印象的であった。中山二郎氏が解説

された。更に、いへばと、風車などのフレールベルの母の歌と愛撫の歌からとった古い歌と遊戯があった。

明治後期の幼稚園の状態は、東京都公立幼稚園職員有志によって演ぜられた。衣裳も当時のままに興味深い場面であった。

最後にお茶の水女子大学附属幼稚園の園児たちの歌と劇により、現代の幼稚園が展示されて閉会した。

なお、文部省初等、特殊教育課では、初等教育資料七十八号を、「幼稚園八十年のあゆみ」特別号としてあてられ、幼稚園教育発展の概観が示されている。（東洋館出版）



（写真は清瀬文部大臣）